

なでしこの風流

女子サッカー王国 横浜

◎1◎

寒風吹きすさぶ師走の週末。およそ50人の女性が、コート3面を使い、ひたすらサッカーボールを廻りかけている。

横須賀市の横須賀フットサルクラブ。同市久里浜地区を中心に活動する「横須賀シーガルズ」所長の高橋は年代別。中でも白熱するのは、中高生だ。小学生から妙齢の女性まで、練習は年代別。中でも白熱するのは、中高生だ。女子チーム代表の森雅夫さんは年代別。中でも白熱するのは、中高生だ。女子チーム代表が5人までに日本代表が5人までも集まつた。女子チームを作った30年前を思うと、夢物語ですね】

シーガルズは1977年、当時児童数が200人を超えたマンモス校

・市立稲田小に通う子どもたちの健康促進などを目的に、地域住民と保護者で作った。女子チームの創設はその5年後の82年。大学教員だった森さんが在外研究で訪れた米国で女子サッカーを目にして、「日本でもサッカーチームを作りたい」と考えたのが創部のきっかけだ。

ただ、女子サッカーは黎明期でチーム数も少なく、全日本女子選手権は80年に始まったばかり。

日本女子リーグ（現なし）の開始も89年まで待たねばならなかっただ。そんな状況だけに、市民クラブのシーガルズは脚光を浴びることもなくなりにかかった。

女子サッカーの認知度が徐々に上がるにつれ、少女たちの選抜肢も格段に増えた。現在の女子育成機関の最高峰は、日本サッカー協会が作る「アカデミー」。夢を抱く選手たちにとって、憧れの場所だ。次いで、メニーナ

・市立稲田小に通う子どもたちの健康促進などを目的に、地域住民と保護者で作った。女子チームの創設はその5年後の82年。大学教員だった森さんが在外研究で訪れた米国で女子サッカーを目にして、「日本でもサッカーチームを作りたい」と考えたのが創部のきっかけだ。

ただ、女子サッカーは黎明期でチーム数も少なく、全日本女子選手権は80年に始まったばかり。

日本女子リーグ（現なし）の開始も89年まで待たねばならなかっただ。そんな状況だけに、市民クラブのシーガルズは脚光を浴びることもなくなりにかかった。

女子サッカーの認知度が徐々に上がるにつれ、少女たちの選抜肢も格段に増えた。現在の女子育成機関の最高峰は、日本サッカー協会が作る「アカデミー」。夢を抱く選手たちにとって、憧れの場所だ。次いで、メニーナ

を認められた少女がまず目指したのは、女子サッカーワールドの名門「読売ベレーナ」（現・日テレベレーナ）（東京都稻城市）の下部組織「メニーナ」だった。シーガルズには、そのセレクションに不合格になつたり、受けるのをためらった子が多く、競技性を求める地元の子も少なくなかつた。「昔のレベルはお世辞にも高いとは言えなかつた」と森さん。そしてこう続けた。「今は随分レベルは上がつたけれど、決してエリート集団ではない。

入部時の事情はより複雑になつた大野忍、近賀ゆかり、矢野喬子の3選手は「まずは地元で」と、シーガルズを選んだ。「チ

ームの中では抜群にうまかったが、彼女たちも最初から日本代表レベルの実力ではなかつた」と森さんは打ち明ける。「普通の少女の多くが、どうしてトップ選手に駆け上ることができたのか。その背景には、サッカーに取りつかれた一人の男の存在がある。

「エリート集団とは違う」

OGに大野忍、近賀ゆかり、矢野喬子



横浜支局

〒231-0005
横浜市中区本町1の3 総合横浜ビル6階
☎045(211)2471
☎045(211)2475
川崎支局 〒210-0004
川崎市川崎区宮本町7の2
☎044(244)8518
☎044(222)7471
さがみ支局 〒243-0417
海老名市本郷27
00の1
☎046(238)5840
FAX046(238)5881
小田原支局 〒250-0013
小田原市南町4の7の11
☎046(22)5032
☎046(22)1376
横須賀通信部
☎046(822)0053
藤沢通信部
☎046(22)2601
鎌倉通信部
☎046(22)0525
相模原通信部
☎042(701)8229
平塚通信部
☎046(20)4608

広告は

神奈川毎日広告社
☎045(201)6861
折込広告は毎日折込
☎03(3208)8611

購読は

☎0120-468-012

◎密度の濃い練習で身についた技術を駆使し、右足から鋭いシュートを放つ横須賀シーガルズの選手=横須賀市佐原4の横須賀フットサルクラブで、宗間撮影●
育成に定評があり、三浦半島一円はもとより、横浜市や平塚市などから練習に通う中高生も多い=横須賀シーガルズ提供